

## コマツ、運転室ない無人ダンプ 切り返し不要、生産性向上

2016/9/27付 | 日本経済新聞 朝刊

コマツは運転室のない無人ダンプトラック=写真=を開発した。車両の前後がなくなるため、土砂の積み込み時などに切り返す必要がなく生産性を高められる。足元の鉱山市況は低迷しているが、市況回復が見込まれる2019~20年をめどに実用化する計画だ。

コマツは現在、鉱山開発向けに有人車両をベースにした無人ダンプを運用している。運転室部分を取り外して車両の前後をなくすことで車両のバランスがよくなる。積み込みや排土後に車両を切り返す必要がなくなり、細い道路でも運行できる。



二輪だった駆動部を四輪にして、それぞれに米ゼネラル・エレクトリックと共同開発した小型モーターを取り付けた。四輪とも自在に動かせるようにして滑りやすい悪路の運行時でも安全性を高めた。

資源メジャーは開発時の生産性改善を重視している。コマツはショベルカーやブルドーザーでも無人システムの開発を進める。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.